

比較文化論演習レポート（3学期）

期限：3月3日17時

場所：レポート提出ボックス（研究室およびメールは不可）

以下の①②の課題に「両方」答えること。引用の仕方などは1，2学期と同じ

課題

① 以下の問題のいずれかを選択

（1）『眼と精神』のメルロ＝ポンティにとって、「歴史」とはどのようなものだと考えられますか。現代の文化的状況を踏まえて答えて下さい

（2）「現象的身体」と「客観的身体」を接続するには、どのような回路を設定すべきだと思いますか。具体的に述べて下さい

（3）メルロ＝ポンティにとって「奥行き」と「身体性」の連関はどのようなものだと考えられますか。『眼と精神』の記述を発展させて推測しなさい。

② 以下の課題のいずれか

（1）『眼と精神』全体を内在的に論評する問題を冒頭でみずから設定し、回答しなさい。要約ではなく、テキストの裏側にまで達するような論評のみ。

（2）メルロ＝ポンティの他の著作または論文を読み、『眼と精神』と関係づけながら論じなさい

（3）授業で紹介した本または論文（一部はシラバスやホームページに記載）を読み、『眼と精神』と関係づけながら論じなさい。

枚数：

発表者：①②あわせて2000字程度

未発表者：①②あわせて3000字以上

総字数をレポートの最後に記すこと。

かならず表紙を付け、氏名等を記し、ホッチキスで留めること。